

北九州市立枝光台中学校

えだみつだい

校長 戸次 健治

【校訓】

「邂逅」「自律」「創造」

【学校教育目標】

「知・徳・体の調和のとれた心豊かで、学校や地域を  
愛し自主自立の精神に満ちた生徒の育成」

## 卒業生45名に 幸あれ！



3月8日（金）に本校第23回卒業証書授与式を執り行いました。45名の卒業生一人ひとりに卒業証書を手渡しました。式辞では「志を持とう」「感謝の気持ちは忘れずに」とのはなむけの言葉をおくりました。答辞では卒業生代表が、3年間の思い出を振り返り、保護者や先生方への感謝を述べていました。式の後には、体育館内で卒業生全員による卒業の歌（いのちの歌、旅立ちの日に）が歌われました。全員、最後の合唱を心を込めて歌い上げ、来賓の方をはじめ参列していた方の胸を熱くしていました。今年度はコロナが5類に移行して体育大会や文化発表会等の行事がコロナ禍のように制限がなくなった一年でした。また、コロナ禍で普及した「タブレット」を活用しての学習も本格化した一年でした。

この卒業生は、最上学年として学校行事や学校生活を見事に引っ張っていました。特に9月に行われた体育大会では下学年を圧倒する演技を見せていました。3年生の活躍を見た2年生が「3年生の活躍がすごかった。自分たちも頑張って、今年以上の体育大会をつくろうと思う」との感想を述べていたことが印象に残っています。また、文化発表会では圧巻の演劇を披露し、会の最後に3年生による合唱が行われ、聴き手に深い感動を与えていました。コロナ後の初めての卒業生でしたが、



枝光台中の伝統をしっかりと後輩に伝えたと思います。

45名の卒業生は、それぞれの進路先で自立への道をまた一歩大きく踏み出していきました。次のステージでも大きく前へ進んでほしいと願っています。また、在校生の皆さまも卒業生の残した枝光台中の伝統をさらに発展させるべく、今後の努力に期待いたします。

## 校名表札を掛け替えました

本校玄関前に掛けられていた校名が書かれた表札が永年の風雨等により劣化が見られたためこの度新しく掛け替えました。表札の「北九州市立枝光台中学校」の揮毫は書家の下山香琴先生にお願いをしました。実は下山先生には掛け替え前の表札（20年前の平成14年）にも揮毫をさせていただいており表札二代続けての揮毫となりました。美しいページュ色のヒノキに揮毫された表札をこれから長きにわたって大切にしていきます。

